

# みやざき 県議会の動き

No.78

4

2021

令和3年4月1日発行  
宮崎県議会広報紙／年6回偶数月発行



## 2月定例県議会

### 2月定例県議会の概要

2月定例県議会は、2月18日から3月17日までの28日間にわたって開催されました。

今回は、会派を代表して4名の議員が代表質問を、13名の議員が一般質問を行い、新型コロナウイルス感染症対策や、農林水産業の振興、デジタル化など、県政全般の幅広い分野について、活発な議論が行われました。

また、開会日の本会議では、知事より、総額六千二百五十五億五百万円の「令和3年度宮崎県一般会計予算」など、89件の知事提出議案が提案され、各常任委員会で付託された議案の審査が行われました。そして、3月8日には、「副知事の選任の同意について」などの議案が追加提出されました。

### 主な知事提出議案

- 令和3年度宮崎県一般会計予算
- 令和2年度宮崎県一般会計補正予算(第14号・第15号)  
〔補正後の一般会計予算規模・・・約7,443億円  
うち新型コロナウイルス感染症対策・・・約915億円〕
- 副知事の選任の同意について
- 宮崎県新型コロナウイルス感染症対策利子補給等基金条例
- 宮崎県東京オリンピック・パラリンピック事前合宿等新型コロナウイルス感染症対策基金条例

閉会日には、県政の重要課題について、一年間かけて調査を行った3つの特別委員会の委員長による報告が行われ、県当局に対して提案や要望(4ページ参照)がなされました。

※2月定例会の結果については、次回6月号に掲載します。

## 議員提案による「宮崎県木材利用促進条例」を制定

令和3年2月定例会において、「宮崎県木材利用促進条例」が成立し、公布の日から施行されました。

この条例は、議員が政策実現のために提案したもので、本県議会においては、10件目の政策条例となります。

### 条例制定の経緯等

本県においては、先人による積極的な植林や適切な管理が行われてきた結果、全国に先駆けて人工林資源が充実している状況にある一方で、林業採算性の低下等により、手入れの行き届かない森林の増加がみられ、森林の多面的機能の低下が懸念されています。

このため、宮崎県産木材の利用の促進を通して、本県林業の持続的発展や豊かな県民生活の実現などに寄与することを目的として、条例を制定することとしました。

### 条例の概要

条例では、県産木材の利用を促進するための県の責務や森林所有者、林業事業者等及び県民の役割を明らかにするとともに、県産木材の利用の促進に関する施策の基本となる事項を定めています。

この条例を契機として、県産木材を利用する気運が高まり、森林の有する多面的機能の発揮、脱炭素社会の実現及び持続可能な循環型社会の構築につながることが期待されます。



【公共施設での県産材利用：都城市立図書館】



条例は、こちらから  
ご覧いただけます。

# 代表質問

各党派を代表する議員の主な質問と答弁の要旨を紹介しします。代表質問の様子は、県議会のホームページの議会中継(録画)でご覧いただけます。

## 人権条例の制定について



はまな まもる  
守 議員  
宮崎県議会自由民主党  
西都市・西米良村選出

**問** コロナ感染者等に対する誹謗中傷など様々な人権問題があるが、県民が人権を尊重し合い、差別や偏見のない社会づくりを推進していくための条例を制定する考えはないか。

**答** 知事 コロナを始めとして、女性や子どもへの暴力、差別的な言動など多くの人権問題がある。あらゆる差別や偏見を解消し、誰もが自分らしく生きていける社会づくりが一層重要となっている。こうした理念を共有し、基本的施策を明らかにすることは大変意義があると考えており、条例の制定について検討してまいりたい。



ゆき之 ひろ博  
だか高 議員  
宮崎県議会自由民主党  
日向市選出

## 宮崎県・市町村被災者生活再建支援制度について

**問** 国の被災者生活再建支援制度では住家全壊の場合等に最大300万円の支援が受けられるが、支援の対象外となる被災者に対して独自の支援策を検討できないのか。

**答** 知事 国の制度では居住する市町村の被災状況により支援の差が生じる等の課題がある。このため、支援対象外となる市町村の被災世帯への生活再建を支援する仕組みを作るため、市町村や関係機関と具体的な協議を進めている。協議が整い次第、支援対象やスケジュール等を速やかに公表する。

## ジェンダー平等について



たに ゆず二  
田口 議員  
県民連合宮崎  
延岡市選出

**問** ジェンダー平等についての知事の考えを伺いたい。

**答** 知事 ジェンダーによる差別や不平等を解消し、多様な生き方を選択できる社会を築くことは、大変重要。県では、市町村等と緊密に連携し、県民意識啓発や女性活躍の場を広げる取組を進め、一定の成果は見られるが、依然様々な課題がある。県としては、今後も男女共同参画に係る施策に積極的に取り組む、男女が互いに人権を尊重し、個性と能力を十分に発揮しながら、安心して暮らすことのできる社会づくりに努める。



しろう じろ次郎  
しげまつ 幸 議員  
公明党宮崎県議団  
宮崎市選出

## 教員免許状更新講習対象者の負担軽減について

**問** 更新講習の負担軽減のため、県教育委員会として何か取り組むことはできないか。

**答** 教育長 教員免許状更新講習については、必要な講習が30時間以上になるため、2週間程度の期間を費やすなど、大きな負担になっていると認識している。県教育委員会としては、現在、プロジェクトチームを立ち上げ、令和4年度からの実施をめざして、既存の研修を更新講習の講座として認定することで、現職教員の負担軽減に向けた検討を進めているところである。

# 一般質問

各議員の主な質問と答弁の要旨を紹介しします。一般質問の様子は、県議会のホームページの議会中継(録画)でご覧いただけます。

## コロナ対応で医療従事者の派遣協力しやすい環境を



みまひろ たかひろ  
みぎまつ 隆 議員  
宮崎県議会自由民主党  
宮崎市選出

**問** コロナ禍でも医療体制を守るために医師や看護師の派遣に協力する医療機関に対し、給与や業務負担の支援費を補助し協力しやすくなる制度の構築を求めたい。

**答** 福祉保健部長 医療機関への支援制度を活用し今般1医療機関に補助を行ったが、今後感染が拡大すれば更に派遣ニーズは高まると認識している。来年度も1億7千万円余を予算措置し、コロナ対応において更なる派遣を推進していく。



かずひと かずひと  
らいじゅう 住 議員  
日本共産党宮崎県議団  
都城市選出

## コロナ危機に関連して

**問** 高齢者施設職員へPCR検査等の社会的検査の実施を。

**答** 福祉保健部長 感染状況を注視し、感染者が増加しつつある際の施設職員の検査等、感染者の早期探知に努める。

**問** 生活保護の申請の力べとなつている義務でもない<sup>※</sup>扶養照会はやめるべきでは。

**答** 福祉保健部長 今後とも関係法令等に従い、保護制度を適切に運用するとともに、個々の要保護者に寄り添った丁寧な対応に努める。

## コロナ禍の中核医療機関県立延岡病院の機能充実について



まさいひろ さとう 議員  
さとう 雅洋 議員  
宮崎県議会自由民主党  
西臼杵郡選出

**問** コロナ禍の県立延岡病院の現状と今後の取組について伺う。

**答** 病院局長 延岡病院では、コロナ感染症に対し、地域の医療機関と連携、機能分担しながら重症や中等症患者を中心に治療を行っている。また、本年4月から患者を搬送しながら治療が可能となる救急車タイプのドクターカーを導入予定であり、運行範囲を西臼杵地区を含め広範囲に拡大することで、県北地域の救急医療の一層の充実に寄与していく。



あつひろ たかひろ  
だか高 議員  
宮崎県議会自由民主党  
東諸県郡選出

## 綾北川の濁水対策について

**問** 年平均約15万m<sup>3</sup>の土砂が堆積する田代八重ダムの対応について伺いたい。

**答** 県土整備部長 ダムの治水機能への影響が懸念されるため、緊急的に河川やダム等の堆積土砂を撤去できる「緊急浚渫推進事業」を活用し取り組んでいる。現在、撤去した土砂を処分するための土捨場の測量や関係機関と保安林解除の協議を進めており、これらの必要な手続き等を早期に完了させ、工事に着手する。



やぐち たつあき  
宮崎県議会議員  
宮崎県選出

### 中核市による児童相談所設置について

**問**児童相談所の体制強化には、中核市（宮崎市）が児童相談所を設置することが重要と考えるが、県の所見は。

**答**福祉保健部長 中核市では関係部門との連携により一貫した施策実施が可能で、きめ細かな支援提供が期待される。国も財政面等の支援を拡充し、現在国内では3市が設置している。県と宮崎市は虐待対応等で連携しているが、中核市における設置に向けた協議も引き続き行っていく。



やぐち たつあき  
宮崎県議会議員  
宮崎県選出

### 「2050年ゼロカーボン社会」に向けて

**問**本県における2050年の温室効果ガス排出量の見込みと今後の取組について伺う。

**答**環境森林部長 温室効果ガス排出量は、二酸化炭素換算で2017年度約1059万トンで、人口減少に伴い2050年には約850万トンになると推計。今後、再生可能エネルギーの導入拡大や省エネルギーの推進、森林等吸収量の確保に取り組むことにより、温室効果ガスの排出量を実質ゼロにしていきたい。



さかもと けんじ  
宮崎県議会議員  
宮崎県選出

### 障がい者手帳のカード化について

**問**カード化に向けてどのように考えているのか伺いたい。

**答**福祉保健部長 障がい者手帳は、紙のため損傷しやすい、携帯に不便などのご意見があり、カード化を望む声があることは承知している。一方で、記載できる情報量が制約されることや、相当額の経費を要するとも伺っている。耐久性や持ち運びやすさ以外のメリットや想定されるデメリット等も含め、他県と情報交換しながら検証してまいりたい。



たか 陽  
宮崎県議会議員  
宮崎県選出

### 第12回全国和牛能力共進会について

**問**共進会への意気込みは。

**答**知事 県内各地域で切磋琢磨し大会気運を盛り上げていくことが重要。このため、「チーム宮崎」二丸となり、令和元年度から出品対策に取り組んでおり、新年度予算案では各種支援策を盛り込んだ。3度の最高賞獲得は、生産者の誇りを大きく高め、飛躍的な宮崎牛のPRにつながった。「日本一の努力と準備」で前人未踏の4大会連続内閣総理大臣賞の獲得を目指す。



おhta せいいち  
宮崎県議会議員  
宮崎県選出

### 親子連れ投票について

**問**親子連れ投票の対象拡大の経緯と県の考えを伺う。

**答**選挙管理委員長 親の投票を子どもに見せることが啓発につながり、将来有権者となる際、投票に行きやすくなること等を期待し、法改正された。国の調査では具体的な効果が確認され、県も選挙の際に周知を図っている。最近では、親世代の投票率も低下しているため、子どもの社会参加のためにも、ぜひ家族で投票に行っていたきたい。



なかの かずの  
宮崎県議会議員  
えびの市選出

### 農業経営収入保険への加入支援について

**問**県は地方創生臨時交付金も活用し、収入保険への加入支援を行うべきと考えるがどうか。

**答**知事 農業経営収入保険制度は、農業者が自ら納得して加入し、継続加入することが重要と考えている。また、交付金活用に係る農水省通知を2月末に市町村に周知したところであり、その取扱は市町村で判断されるものと考えている。今後とも加入促進に向けて様々な形で取組を進めてまいりたい。



やま まする  
宮崎県議会議員  
宮崎県選出

### 本県産焼酎の輸出拡大の取組について

**問**海外との取引拡大に向け今後どのように取り組むのか。

**答**商工観光労働部長 海外渡航制限の中、情報発信等を行い、香港や上海、欧米での焼酎の認知度向上に努めている。昨年12月、国の農林水産物・食品の輸出拡大実行戦略の中で、本格焼酎が重点品目に選定されたことは今後への大きな弾みになる。今後も国・JETRO等との連携を更に深め、渡航再開後の速やかなプロモーション活動に向けて取り組む。



ひろ 規  
宮崎県議会議員  
児湯郡選出

### 小規模高校を守るために！

**問**高等学校の適正規模である1学年4〜8学級、1学級40人を見直すべきである。

**答**教育長 来年度からの高等学校教育整備基本方針では適正規模を見直し「定規模の教育環境を提供する」とした。**問**1学級40人を下回った場合、統廃合の対象となるのか。**答**教育長 1学級40人は、あくまでも学級編制を行う上での標準人数であり、それを下回った場合でも、統廃合を前提とはしない。



ふじはら まさみ  
宮崎県議会議員  
北諸県郡選出

### 自転車競技場の改修について

**問**第81回国スポ大会に向けた県総合運動公園自転車競技場の改修方針を伺いたい。

**答**教育長 競技場を調査した結果、走路面の亀裂や沈下の拡大等の劣化、走路の幅員や外柵等の基準を満たさない箇所が確認され、抜本的な改修が必要と考える。維持管理等を含めた経済性、競技力向上や合宿誘致などでの有効性を考慮し、現行の1周400mから333・33m走路での改修を予定している。

## 代表質問・一般質問 用語解説

### ※1 被災者生活再建支援制度

国の被災者生活再建支援法に基づき、自然災害により都道府県や市町村において、一定以上の被害が発生した場合に、居住する住宅が全壊するなど、生活基盤に著しい被害を受けた世帯に対し、都道府県が相互扶助の観点から住宅の被害程度やその再建方法に応じて支援金を支給する制度

### ※2 扶養照会

生活保護の申請があった時、申請者の親族等のうち、扶養が期待できる方に対して仕送りなどの経済的支援や申請者との交流継続などの精神的支援の可否について福祉事務所が照会するもの

## 特別委員会

特別委員会では、県政の重要課題について調査事項を定め、県執行部や関係団体等との意見交換や現地調査等、様々な活動を1年間実施しました。その調査結果を踏まえ、県執行部に対し次のとおり提言や要望を行いました。各委員会の調査概要や提案・要望は、委員会報告書としてまとめられており、詳細は、右のQRコードからご覧いただけます。



### 新型コロナウイルス等感染症対策特別委員会

- 調査事項** ①本県の地域医療体制等に関する事 ②感染症予防等への対応に関する事  
③学校における対応に関する事 ④県内の産業・観光(インバウンド)の影響と復興に関する事

#### 主な提言・要望

- PCR検査等について、感染拡大防止と県民の安心確保のため、検査体制を一層拡充していくこと
- 感染者等に対する誹謗中傷などがなくなるよう、学校をはじめとして、取組を一層強化していくこと
- 児童生徒の学びを保障していくため、感染拡大の影響を最小限に止めることができるよう全力で取り組むこと
- 切れ目なく効果的な経済対策を実施していくとともに、雇用対策に万全を期すこと

### スポーツ振興対策特別委員会

- 調査事項** ①天皇杯獲得に向けた選手の発掘や育成に関する事 ②指導者育成に関する事  
③体育施設の充実に関する事 ④スポーツランドみやざきの更なる推進に関する事

#### 主な提言・要望

- 未普及競技の競技人口拡大に向け、競技ごとの事情に沿った支援を行うこと
- スポーツ指導者が年代ごとの適切な指導方法などを共有できる場をつくること
- 学校内の体育施設の整備など、練習環境の充実に向けた取組を積極的に行うこと
- 他県と本県とを比較分析し、スポーツランドみやざきの全県化に向けた大局的な戦略を立てること

### 持続可能な地域づくり対策特別委員会

- 調査事項** ①地域経済循環に関する事 ②地域づくりを担う人材育成・確保に関する事  
③SDGsに関する事 ④中山間地域の振興に関する事

#### 主な提言・要望

- 稼げる農業の推進を通して外貨を獲得するなど、地域経済を好循環させる取組を行うこと
- テレワーク環境の整備などにより、大都市からの移住者を本県に呼び込む施策を実施すること
- 県総合計画の各目標に基づく着実な政策の評価を行い、持続可能な宮崎県の実現を図ること
- 地方回帰の流れをチャンスと捉え、さまざまな課題に対して全庁的な施策を推進すること

## 議会傍聴・インターネット中継について

県議会では、新型コロナウイルス感染防止対策として、傍聴の際に、マスク着用や手指消毒、検温等へのご協力をお願いしております。

また、インターネットによる本会議の生中継や録画中継も行っており、パソコンやスマートフォン、タブレットでご覧いただけますので、是非ご利用ください。



#### 傍聴に関する問い合わせ

県議会事務局総務課 ☎ 0985-26-7215

#### インターネット中継に関する問い合わせ

県議会事務局政策調査課 ☎ 0985-26-7217



↑上のQRコードから県議会の中継サイト(右)にアクセスできます。



宮崎県議会 公式ちゃんねる



動画配信サイトYouTubeの「宮崎県議会公式ちゃんねる」にて、2月定例会議の様子をまとめたテレビ番組「県議会だより」を配信予定です。また、2～3ページに掲載した議員の質問動画も配信していきますので、ぜひご覧ください。

### 令和3年度の年間予定

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
4月15日～16日 ● 4月臨時会 ● 常任委員会(閉会中)	● 特別委員会(閉会中)	6月14日～30日 ● 6月定例会	● 常任委員会(閉会中)	● 特別委員会(閉会中)	9月6日～10月11日 ● 9月定例会	● 常任委員会(閉会中)	● 特別委員会(閉会中)	11月25日～12月13日 ● 11月定例会	● 常任委員会(閉会中)	2月17日～3月16日 ● 2月定例会	



宮崎県議会  
Miyazaki prefectural assembly

宮崎県議会  
公式フェイスブック



表紙の花：ハゴロモジャスミン  
(花言葉は、優雅、喜び、清純)